



句集
はまなす

玫瑰

升田ヤス子

のぼりきし
鮭は藻の色
石の色

この句集の冒頭は北海道在住時の作品。家族で赴任地に暮らす様子が、生き生きと伝わってくる。土地に住まなければ詠めないものばかり。永住の地ではないが、北国の暮らしの厳しさや都会にないのんびりとした風景も窺える。理屈や知識を持ち込まないから句が素直。当時の暮らしぶりが鮮明に伝わってくる。

山田六甲

蟹売りのリヤカーふさぐ雪解道

のぼりきし鮭は藻の色石の色

単線の鉄路背に住み虎落笛

頬被りすれば身に添ふ土地言葉

ねんねこを脱ぎてわが身のたよりなし

北海の霧笛ふるさと遠きかな

夕花野馬一列に帰りゆく

はまなすに暮れて指呼なる利尻富士

盆の僧母の戦後を讃へけり

半夏生転びたること母隠す

掛取りの策練りて母黷びずをり

母の汗ハンカチにあり逝きにけり

母
逝
き
て
掛
け
帳
残
る
梅
雨
の
底

草
相
撲
母
に
見
ら
れ
て
泣
け
ず
を
り

口々に留学の夢チエリ―食ぶ

留学子に吾は背割れの空蟬よ

受
験
子
の
お
の
れ
に
怒
る
声
に
泣
く

職
探
す
娘
に
白
シ
ャ
ツ
の
糊
効
か
す

嫁
ぐ
娘
の
こ
ろ
こ
ろ
笑
ふ
秋
桜

大
学
生
首
突
つ
込
ん
で
穴
子
井

子
の
下
宿
へ
哲
学
の
道
水
澄
め
り

妊
り
し
娘
に
は
く
れ
ん
の
白
玉
な
す

高砂の松風通ふ茅の輪かな

ほうたるの背山の闇のうねりけり

汽車の来て松明縮む虫送り

無事に子を産みたるごとく台風過ぐ

落ち通草蟻を満たして流れゆく

肩細く夫の写経や十三夜

渡り鳥夢前川に沿ひにけり

大鷹の空真二つに裂きにけり

ためらひ傷ありぬ剪定終りし木

簞笥より数珠出して母お施餓鬼に

吾亦紅子の擦りむきし膝乾く

梅雨出水瓦礫入りなる土囊積

キャンプ更けニュースを作る懐中灯

浜木綿の昨夜の花火の残像めく

稲刈の嫁の大きく見えしと言ふ

濱賞受賞

初写真抱きし花の香るごと

嫁が君小鳥の声を真似てゐし

着膨れを悔やんでゐたる試着室

葛湯吹き模糊と夢見る子の未来

水餅の妻の座に似て忘らるる

蝌蚪すくふ子の指ゑくぼ小さかり

道に莫塵敷くごと干され青刈稲

子の尻に岩の擦り傷
滝滑り

古墳より破鏡の出づる望
下り

摩天崖山下げを待つ牛屯ろ

寒析の青年の足長からむ

二日とろろ渦大きこと愛でて播る

上り鮎背面跳びに堰越ゆる

山の落義経道に香を放つ

渦巻蚊遣畑に余りて部屋に炷く

ド
ラ
ム
缶
に
く
る
く
る
回
る
缶
鮎

枯
蓮
み
づ
か
ら
風
を
立
て
に
け
り

柚子の湯に
柚子の棘傷
疾きけり

鴨鍋や
水の匂ひ
の芹加へ

捨て甕を魚礁に水の温みけり

瑠璃色の降りきぬ夏の蝶なりき

梅
酒
壘
氷
砂糖
の
角
の
取
れ

ラ
ン
ド
リ
ー
待
つ
間
の
枇
杷
を
見
て
ゐ
た
る

花
菖
蒲
滴
る
ご
と
く
ひ
ら
き
け
り

春
暁
の
闇
一
間
隔
て
て
母
の
経

春
一
番
旅
終
へ
し
母
町
言
葉

す
ぐ
立
て
る
席
に
嫁
ゐ
て
盆
念
仏

子
ら
す
こ
や
か
草
色
の
濃
き
蓬
餅

子
の
眼
涼
し
幾
何
証
明
を
成
し
得
た
り

受験子の朝を素直な返事かな

受験子の余震に願書抱きしむる

合格の数字踊つてゐるごとし

雛の夜の熱の子にその姉の添ふ

十三詣り着物の肩のまだ尖り

櫛挿せばすでに娘よ踊りけり

春着きせ子を恋人に託しけり

娘の婚のキャンデーシャワー小鳥来る

妊りの春―セ―夕寸に胸乳浮く

生れし子に逢ひに恋めく冬花火

生れし子のアルカイツクの笑み爽やか

母の髪握りねまる子冬ぬくし

昼寝夫甲冑のごとく口開けて

菖蒲園夫と想ひを異にして

夫の肌拭く病室に緑さす

内裏雛見てより夫の巨大顔

留 学 子 に 吾 は 背 割 れ の 空 へ よ

咳 一 つ わ が 英 語 塾 寺 子 屋 め く

洗ひ髪吹かれて
駅に夫を待つ

抗ふも乗るも
小魚落し水

齒朶刈りて羽あるごとく山降りる

錦絵の顔になりをり梯子乗

牡丹の芽後翅を出して飛び立ちさう

巻紙に恋の歌無し障子貼る

友の手に
虫こぼして
何か失す

髪しとど濡れ
みて花の雨と知る

著者略歴

升田ヤス子（ますだ・やすこ）

昭和16年 栃木県那須郡那珂川町生まれ

昭和39年 慶應義塾大学文学部卒業

昭和55年 7月号より「濱」に入会、大野林火に師事

昭和57年 10月号より松崎鉄之介に師事

平成7年 濱賞受賞、「濱」2集同人

平成18年 「濱」1集同人

平成25年 8月号にて「濱」終刊

8月号より「六花」入会、山田六甲に師事

「六花」雪樹集同人

平成27年 「六花」雪樹集同人

俳人協会会員



句集

玫瑰^{はまなす}

発行 平成二十八年二月二十四日

著者 升田ヤス子

発行者 大山基利

発行所 株式会社 文學の森

〒一六九一〇〇七五

東京都新宿区高田馬場二一ー二 田島ビル八階

tel 03-5292-9188 fax 03-5292-9199

e-mail mori@bungak.com

ホームページ <http://www.bungak.com>

印刷・製本 潮 貞男

©Yasuko Masuda 2016, Printed in Japan

私家版

落丁・乱丁本はお取替えいたしません。